

令和2年度浜松市要介護度改善評価事業 事例報告

# 利用者の意欲に働きかける プログラムの実践

株式会社創生 佐鳴台倶楽部  
管理者 奥山太山

# 法人紹介

浜松市内で5つの施設を運営（佐鳴台・山の手・入野・富塚・富塚中央）

5つの施設でそれぞれ特徴あるプログラムを実施

認知症に対して、個々の症状に応じ、科学的根拠に基づき維持改善を図り、心を開いてとけ込める環境や交流の場所を提供しています。

佐鳴台倶楽部



連想記憶を刺激して認知症の維持・改善を図る  
連想言葉つくり、自由詩つくり、回想トークによる  
映画鑑賞、歴史回想、言葉あつめ、連想ビンゴ、など

## 株式会社創生



Copyright©2020 Sosei Ltd. All Right Reserved

山の手倶楽部



作業療法を駆使して認知症の維持・改善を図る  
おしゃべりクッキング、布を針と糸で加工する創作、  
エコアート、切り紙細工、モザイク画、など

入野倶楽部



身体と心のバランスで認知症の維持・改善を図る  
個別身体機能向上プログラム、健康吹き矢、音楽療法、  
サッカーボーリング、陣取りゲーム、など

富塚倶楽部



お友達を作ることで認知症の維持・改善を図る  
地域交流イベント、シネマサロン、自慢話の会、散歩、  
筍掘り、園芸、ぶどう狩り、皆でジグソーパズル など

富塚中央倶楽部



家庭・おうち菜園で認知症の維持・改善を図る  
家庭菜園（季節の野菜を育て収穫）、おうち菜園、収穫  
した野菜でおしゃべりクッキング、宿泊サービスあり

# 事例対象者

- 91歳女性
- 通所頻度：週2回
- 介護度：要介護3（利用開始時：平成30年1月）
- 既往歴：MCI（軽度記憶障害）、狭心症、誤嚥性肺炎

# 要介護状態の改善に向けての具体的な取組

対象者はデイサービス利用前は、たくさんのお友達と共に趣味活動に精力的に取り組んできたが、加齢による身体機能の低下もあり、デイサービス利用時から趣味活動の継続が難しくなっていた。

そこで、活動機会減少による意欲の低下を防ぐべく、本人の意欲に働きかけるプログラムを考案し、取り組んだ。

## 【A 意欲にはたらきかける取組】

また、身体機能の低下も防ぐべく、毎月健康調査も実施し、結果を本人と共有し、筋力の維持向上に向けて運動も実施していただいた。

## 【B 身体機能維持のための取組】

## 【A 意欲にはたらきかける取組】

- 対象者は以前から俳句の会に入っており、月に1度、仲間と集まり俳句を作る活動を長年続けていた。そこで、俳句を作り、互いの作品を鑑賞し、評価しあえるプログラム「**俳句遊び**」を考案した。
- 俳句作りをしたことがない方でも簡単に取り組み、有名な俳句も味わうこともでき、自分の作品作りのみならず、参加者皆で共有できるプログラムである。

# 俳句遊びのルール

- ①有名な俳句をお題とする。 例) 閑けさや 岩にしみ入る 蟬の声 松尾芭蕉
- ②その俳句の作られた背景を説明する ※各個人のノートなど使い自由に記録してもらう
- ③お題から一部使う言葉を決める 例) 「閑けさや」を俳句の中に必ず使い、他を変える
- ④参加者に「閑か、静か」と思う事柄をいくつか述べていただき、ホワイトボードに書き並べる
- ⑤自身のノートに、お題の言葉を使って俳句を作る  
※思いつかない利用者には職員が共に考え、④で出てきた言葉など参考に、1句共同で作る
- ⑥できあがった句を、半紙に筆で書く
- ⑦早く出来た方はその句にちなんだ挿絵を句に添えて描き込んでいただく
- ⑧できあがった全員の俳句をホワイトボードに並べ、番号をつけ、1句ずつ読み上げていく  
※1句ずつ前向きなコメントを挟み、次回への意欲となるよう働きかける
- ⑨参加者全員（職員も）に、投票用紙に無記名で面白かった句、好きな句の番号を2つ選び、投票  
※無記名投票で、自身のもも選べるように配慮。  
職員投票は0票のものが無くなるよう、すべてに1票ずつ入るよう配慮。
- ⑩ 1票ずつ開票し、1位（金賞）を決める
- ⑪ 作品は会話交流のきっかけになるように、屋内の掲示板にお題共に掲示し、毎月更新する

# 俳句遊びのルール



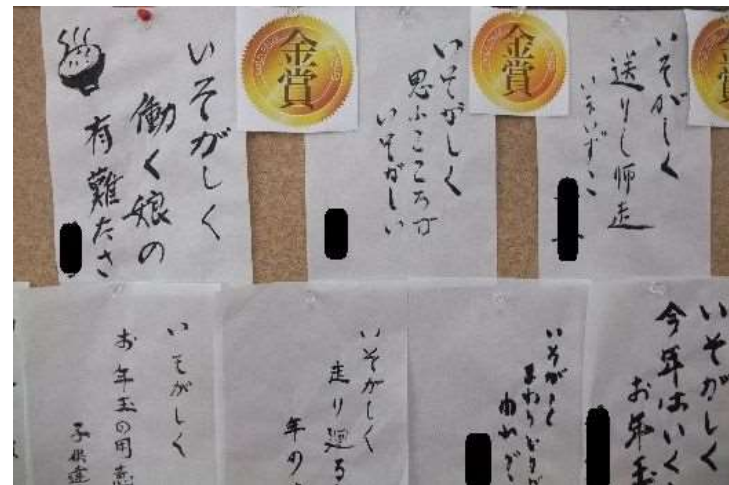
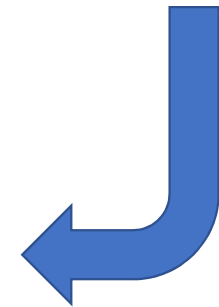
①お題の俳句③使う言葉の指定



⑤自身のノートに俳句をいくつか考える



⑥筆で考えた俳句を書く



⑩投票で金賞を決め⑪掲示する

## 【B 身体機能維持のための取組】

- 毎日の取組として、朝、昼食後、お帰り前とそれぞれ15分ほど、計45分の軽い負荷の体操を行う。
- 週1回は「ロコモ体操」というプログラムを90分行い、本人の状態に合わせ、ロコモコーディネーターの資格をもつ看護師、または理学療法士などによる身体機能訓練を実施している。

※ロコモ体操実施の日は、毎日の通常の体操は行わない。



# 取組の評価方法

## 【A 意欲にはたらきかける取組】

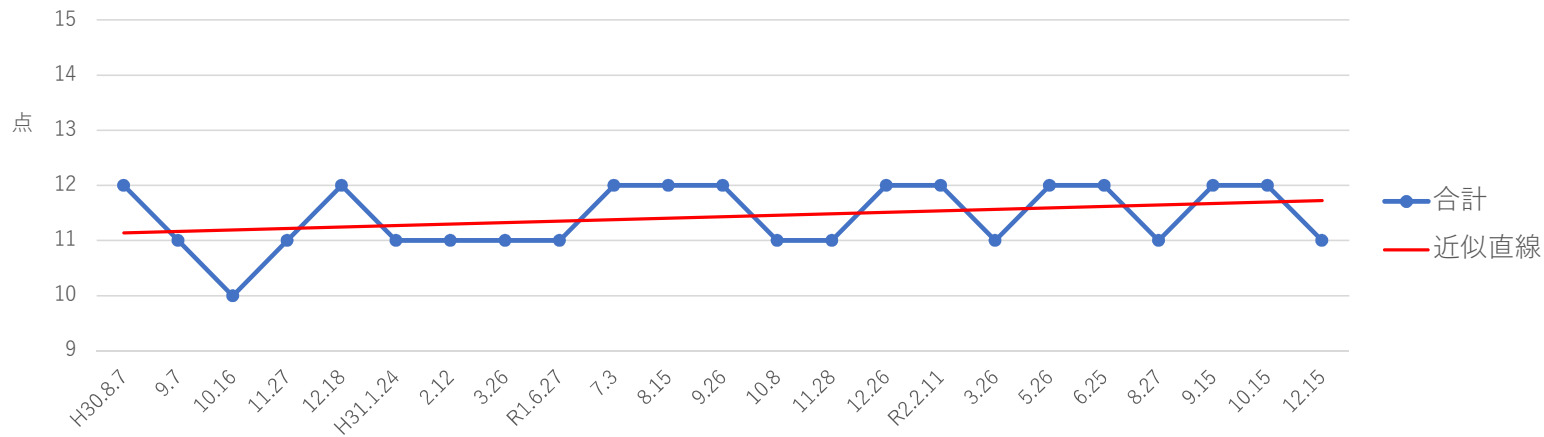
- ・ 毎日、笑顔・発語・目力を指標として満足度を測るSO法（Simple Observation Method）を用いて、職員が対象者の参加状態を毎日記録した。
- ・ MMSE（Mini Mental State Examination）の測定を3～6ヶ月程度の期間を空けて行い、認知機能の変化を確認した。

## 【B 身体機能維持のための取組】

- ・ 健康調査を毎月実施し、体重、握力、足指間力、TUG（Timed Up & Go Test）、FRT（Functional Reach Test）を測定し確認した。

# 【A 意欲にはたらきかける取組の結果】

【俳句遊び】SO法合計点（笑顔＋発語＋目力）



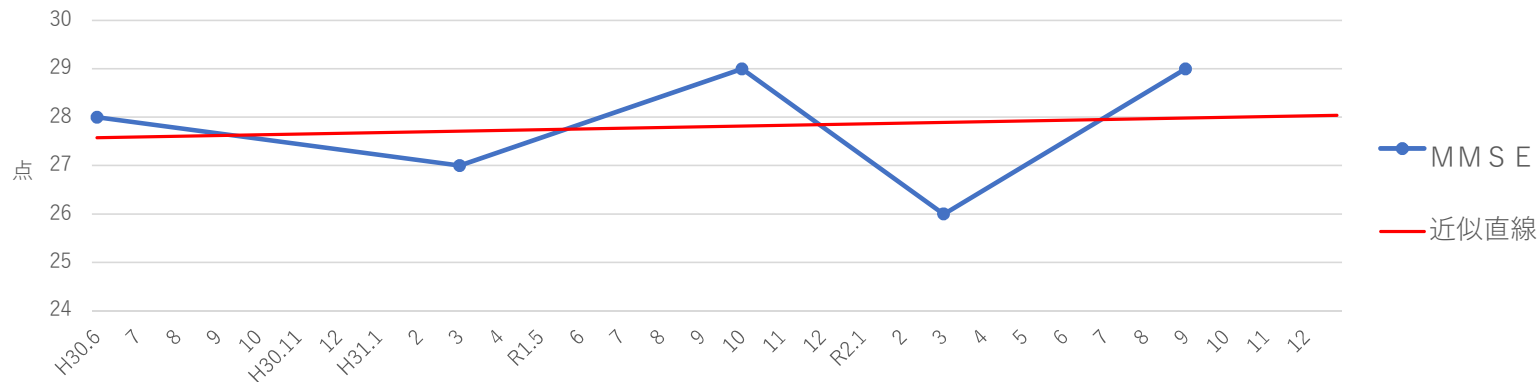
SO法の点数は最高15点中、平均11.43点で、対象者にとって満足度が高い

近似直線を見ると、**上昇傾向**にあり、回数が増すたびに、**満足度が上昇**



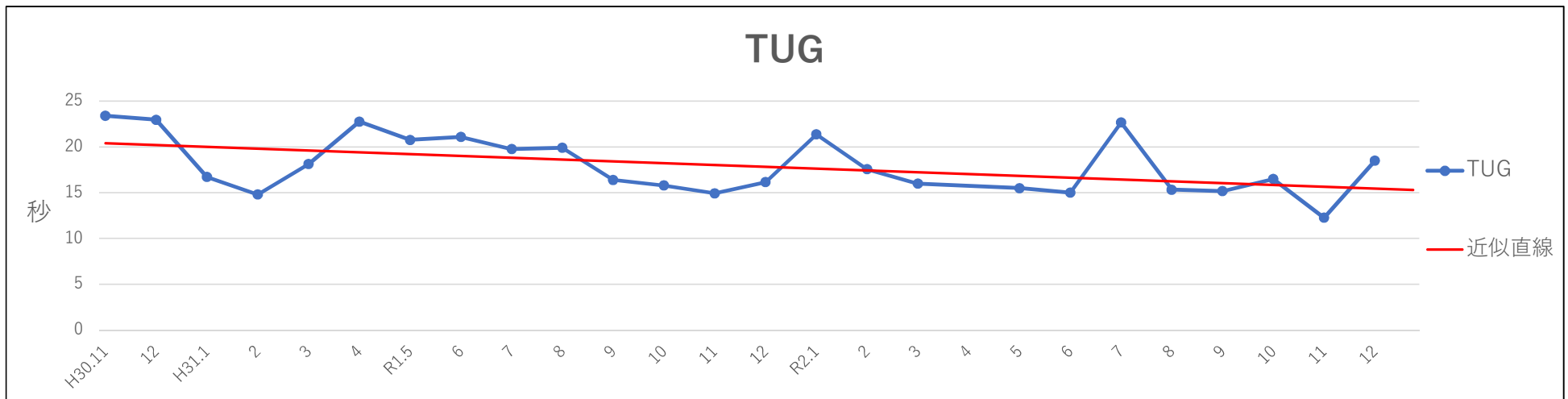
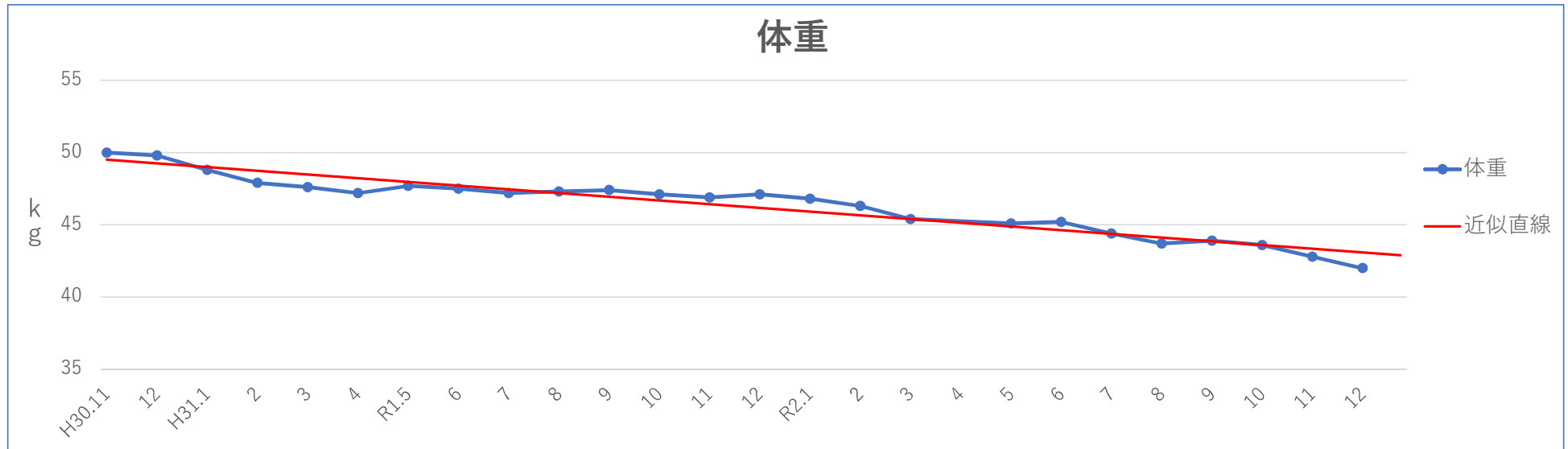
意欲向上

MMSE

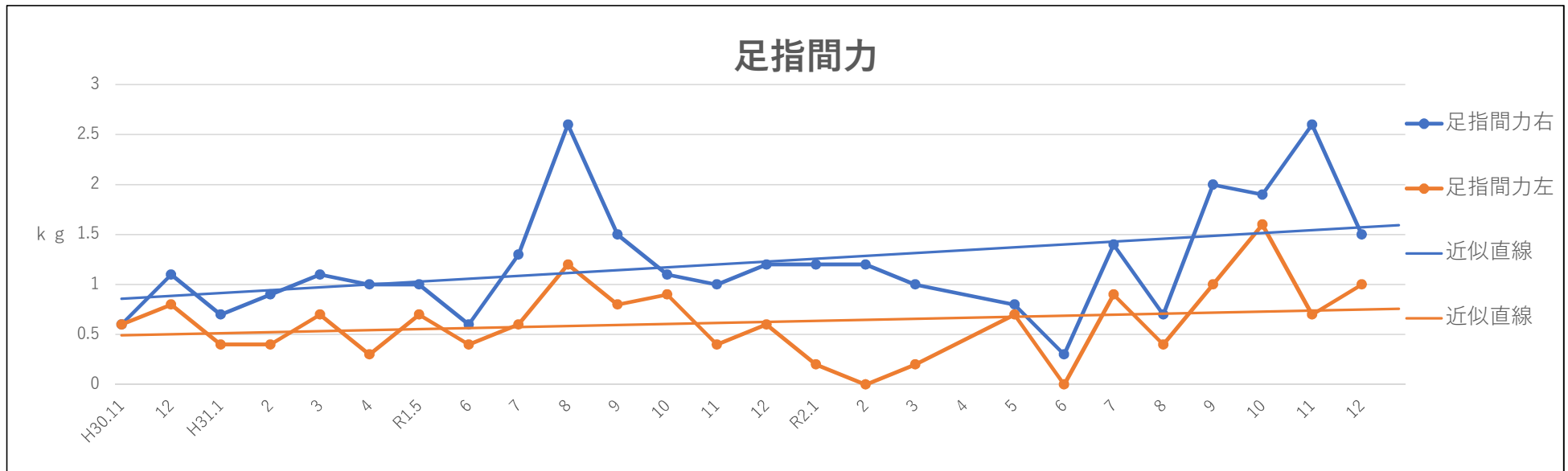
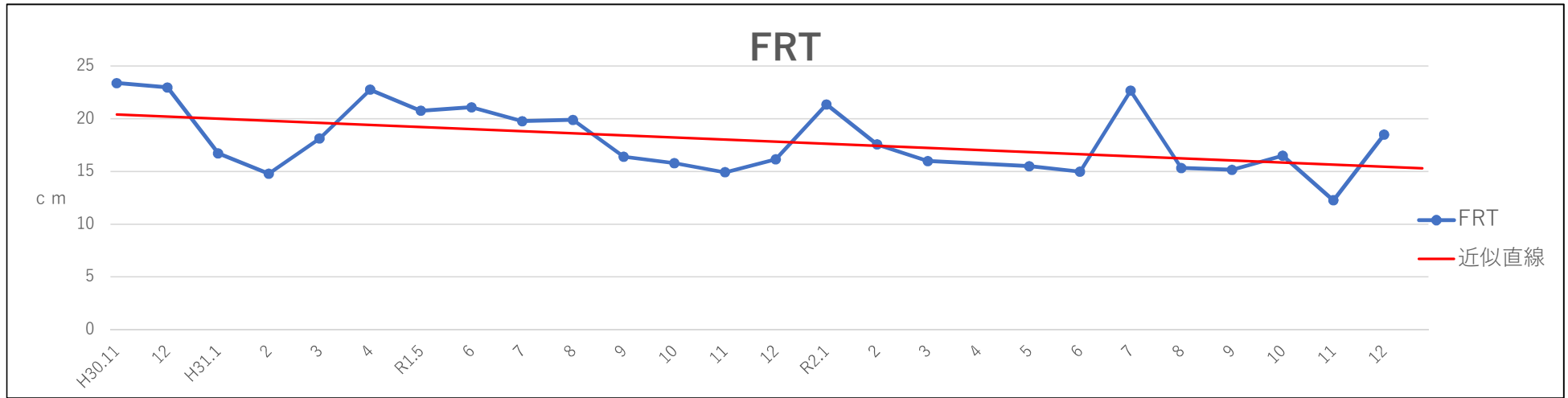


近似直線で上昇傾向が見られ、**意欲の向上**が、**認知機能面の向上**にも関係していることが推測される。

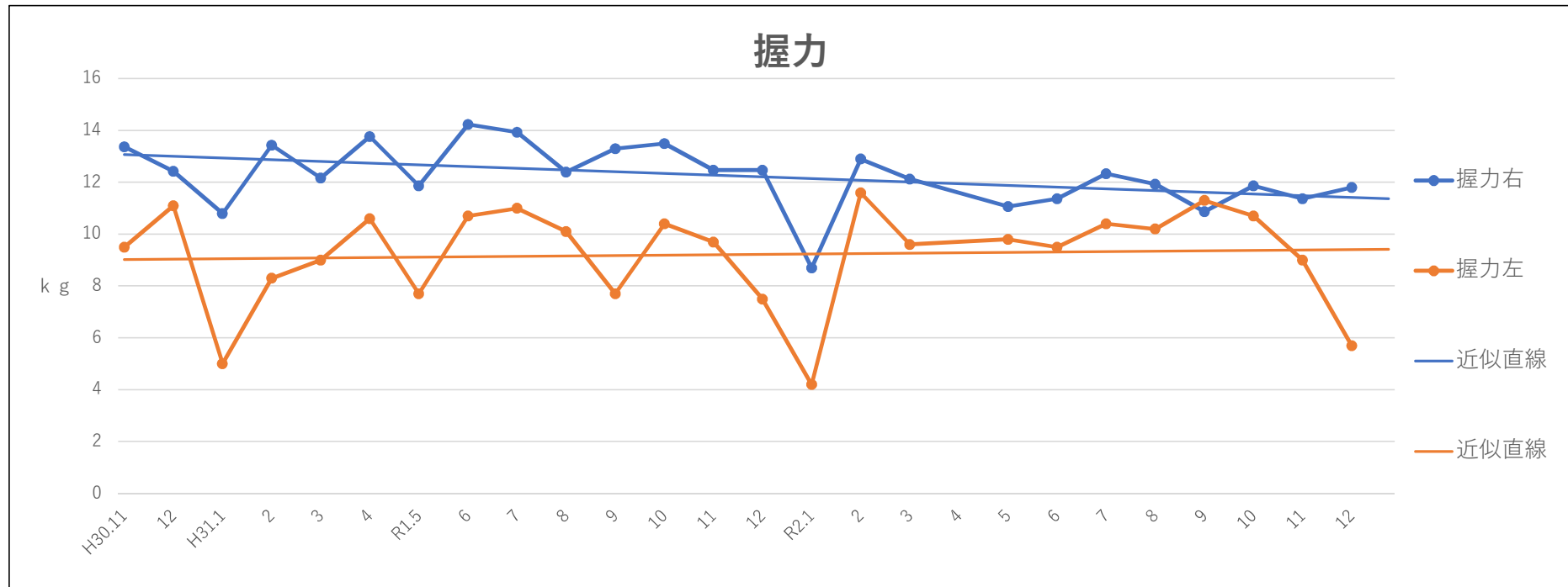
## 【B 身体機能維持のための取組の結果1】



## 【B 身体機能維持のための取組の結果2】



## 【B 身体機能維持のための取組の結果3】



身体機能維持のための取組の結果より、狭心症もあり過度な負荷がある運動は出来ず、加齢に伴う筋力の減少はあるものの、日頃の軽度な機能訓練の継続により、急激な低下は防ぐことが出来ていることがわかった。

# 結論

【A 意欲にはたらきかける取組】 【B 身体機能維持のための取組】の結果から、身体機能が、加齢に伴って少しずつ低下しても、本人の意欲の維持、向上を図ることで、認知機能面の向上につながり、実生活の場において、生活の質【QOL】が向上した。

その結果、要介護度が3から2に改善した。

また、本人の満足度を日々記録するSO法を用いることで対象者が望んでいるものが把握でき、介護者が適切に関わることができているのだと考えられる。

今後も、小規模デイサービスの特徴を生かし、ご利用者の背景をしっかりと理解し、その人その人に合ったプログラムを提供し、取組の様子を記録し、評価し、ご本人の意欲向上につなげていくことが、最も重要なことだと確信しました。